

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(絵画科)

科目 区分	必修選択 の区分	授業科目	実務教員 による授業	うち シラバス添付	第一学年		第二学年		授業時数	実務教員授業時数		うちシラバス添付時数	
					週間授業時数	年間授業時数	週間授業時数	年間授業時数		第1学年	第2学年	第1学年	第2学年
講 義	必 修	西洋絵画史	●		2	50			50	50			
		絵画論	●		2	50			50	50			
		オリエンテーション			2	6	2	2	8				
		ベーシック			4	6	4	4	10				
		計				112		6	118	100			
自由選択	キャリアガイダンス				2	8			8				
	計					8			8				
演 習	必 修	美術作品鑑賞			8	16			16				
		計				16			16				
実 技	必 修	木炭デッサン演習	●		4	30			30	30			
		鉛筆デッサン演習	●		4	30			30	30			
		油彩演習	●		4	30			30	30			
		油彩画1	●		4	30			30	30			
		油彩画2	●	★	4	60			60	60		60	
		水彩演習	●	★	4	30			30	30		30	
		アクリル画演習	●		4	30			30	30			
		アクリル画	●		4	30			30	30			
		木炭デッサン	●		4	30			30	30			
		鉛筆デッサン	●		4	30			30	30			
		剥製デッサン	●		4	60			60	60			
		裸婦デッサン	●		4	32			32	32			
		人体デッサン1	●				4	32	32		32		
		人体デッサン2	●				4	40	40		40		
		進級デッサン	●		4	32			32	32			
	野外写生	●		4	32			32	32				
	模写1	●		4	30			30	30				
	模写2	●		4	30			30	30				
	裸婦着彩	●	★	4	60			60	60		60		
	人体着彩1	●				4	60	60		60			
	人体着彩2	●				4	52	52		52			
	静物着彩1	●		4	62			62	62				
	静物着彩2	●		4	60			60	60				
	彫塑	●		4	32			32	32				
	夏期課題	●		4	36	4	32	68	36	32			
	冬期課題	●		4	20			20	20				
	春期課題	●		4	64			64	64				
	進級着彩	●		4	90			90	90				
			小 計			970	216	1,186	970	216	150		
	実 技 演 習	必 修	静物デッサン	●				4	30	30	30		
絵画制作1			●	★				4	60	60	60	60	
絵画制作2			●					4	60	60	60		
卒前前提課題			●	★				4	120	120	120	120	
卒業制作			●					4	420	420	420		
講評会			●		4	88	4	40	128	88	40		
小 計					88	730	818	88	730	180			
		計			1,058	946	2,004	1,058	946	150	180		
そ の 他	東美祭、運動会					100		100	200				
	健康診断					4		4	8				
	計					104		104	208				
必修科目(講義・実技・演習)授業時数						1,290		1,056	2,346	1,158	946	150	180
自由選択科目授業時数						8			8				
卒業に必要な総授業時数						1,290		1,056	2,346	1,158	946	150	180

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2025	1年・前期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	油彩画2	小林 宏至	60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
構図、色彩への理解、質感表現や空間表現方法を習得することを目標とする。			
【授業概要】			
油彩画材料の基本的な説明を行い、実際の道具の扱いを学ぶ。 習得必須である油彩画材料への親しみを覚えることを目的とし、今後の制作活動に繋がっていくよう指導していく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	油彩画2 デモンストレーション・エスキース作業		
2	油彩画2 各自作業		
3	"		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	"		
10	批評会		
11			
12			
13			
14			
15			
16			
【成績評価方法】			
授業への積極性(出席、授業態度)、狙いの理解度、完成度により客観評価する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
最初の演習授業ではデモンストレーションを交えて丁寧に教えていく。そこから油彩画材料への親しみを覚えることを目的とし、制作をさせる。担当講師は写実画家として活動しており、「第49回主体展」秀作作家 会員推挙、「第2回ホキ美術館大賞展」など受賞経験多数あり。渋谷東急本店や日本橋三越などで数多くの作品を発表し、受賞している。主体美術協会会員。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2025	1年・前期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	水彩演習	小林 次男	30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
・油彩画とは異なる水性絵の具の比較効果と扱い方を習得することを目標とする。			
【授業概要】			
・水彩画材料を基本から系統立てて学び、習得すべき基本材料として身に着ける基礎を学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	エスキース、画材研究		
2	描画		
3	エスキース、画材研究		
4	エスキース、画材研究		
5	描画、批評会		
【成績評価方法】			
描画表現が難しいためどれだけ特質が理解できたか、制作過程と作品をみて判断する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
水彩画材の特長である制作に於いての不可逆性を体験することで絵画制作での計画性の重要性を併せて感じられるように指導。			
担当講師は銅版画を専門に活動しており、国際美術トリエンナーレ審査員特別賞、ウヅジ国際版画ビエンナーレ最高賞受賞、 ペラルーシ国際小版画トリエンナーレ1等受賞と、海外で数多くの作品を発表し、受賞している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2025	1年・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	裸婦着彩	森吉 健	60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
描画作業の中で自分に足りない技術を確認する。 自身の得意とする絵の具を使用しての描画力を高めることを目標とする。			
【授業概要】			
・画材は油彩・アクリル絵の具・水彩の中から選択し、組まれたモチーフや人体を描画する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	クロッキー		
2	エスキース、デッサン		
3	描画作業		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	"		
10	"		
11	"		
12	"		
13	"		
14	"		
15	"		
16	批評会		
【成績評価方法】			
画材や色彩に対する理解が深まっているか、構図の取り方、描画力、授業態度を総合して評価する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
モチーフを変えながら、見方、考え方を繰り返す。描画力、絵の具の理解を高めるよう、指導する。			
担当教員は第9回前田寛治大賞展で佳作第三席受賞経験あり。現在日本美術家連盟会員。			
カルチャースクールも開いており、個展やグループ展も多く開催している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2025	2年・前期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	絵画制作1	森吉 健	60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
自己の思考・発想から、作品を制作していく過程を身につけることが到達目標。 アイデア・コンセプト・エスキース・資料の準備など、制作に不可欠な作業を学ぶ。			
【授業概要】			
前半の授業でエスキースを行い、それを元にした講師とのディスカッションを経た後、制作を進める。 制作する作品のサイズ20号程度、画材及び支持体は各人による。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	エスキース		
2	"		
3	"		
4	"		
5	"		
6	制作期間		
7	"		
8	"		
9	"		
10	"		
11	批評会		
【成績評価方法】			
課題への理解度、作品の完成度により客観評価する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
1年次では、用意されたモチーフを描く習作が主だったが、この授業では自己の考えで一から描いてく作品へとステップアップを図る 担当教員は第9回前田寛治大賞展で佳作第三席受賞経験あり。現在日本美術家連盟会員。 カルチャースクールも開いており、個展やグループ展も多く開催している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2025	2年・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	卒制前提課題	富田由紀子	120時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目的に合った素材、手法を選択し、絵画制作を行う。 卒業制作に向けて、在学期間の集大成としてふさわしいアイデア・制作への足掛かりとすることを目標とする。			
【授業概要】			
自身の就学の集大成に相応しい表現を模索する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	エスキース・ミーティング		
2	エスキース・ミーティング		
3	エスキース		
4	絵画制作		
5	〃		
6	〃		
7	〃		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	批評		
【成績評価方法】			
授業への積極性、作品の完成度により客観評価する。 出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外とする。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
エスキース段階でミーティングを行い、表現内容・技法などを計画し、実制作に入る。			
担当教員は1996年 VOCA'96 上野の森美術館 奨励賞受賞。1996年「美術の内がわ・外がわ」板橋区立美術館にて展示。			
その他「メディテーションー真昼の瞑想」栃木県立美術館、「アートとともにー寺田小太郎コレクション」府中市美術館			
2013年 富田由紀子展 練馬区立美術館などで展示経験あり。現在はギャラリー椿(東京、京橋)で隔年個展を行っている。			